

未来



全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中郵支部
機関紙「みらい」
NO. 4522
25年2月14日(金)
Tel・Fax 095-828-1953
文責 支部書記長

最強寒波到来！ 指示は適切だったか

おはようございます。
先週はこの冬一番の寒気が流れ込み、長崎でも連日積雪を記録した。交通事故や大きな転倒事故などは起きなかったようだが、業務指示で混乱した日もあった。
2月4日(火)から2月8日(土)まで続いた寒波下における業務指示を振り返る。

2月4日(火)
朝から積雪があったが、公共交通機関がストップすることはなかった。出社できない社員もいなかった(第三集配)ため通常通りの業務運行。ミーンテイングの中で「公共交通機関がストップし出社できない社員は自宅待機とのことで公共交通機関が動き出せば出社要請もある」との周知。この日夕方までは雪も降らず全員無事に帰局。夕方便

の混合夜勤(バイク)は4輪車に同乗して配達。(一部、二輪車で配達したエリアあり)

2月5日(水)

朝から積雪のため、バイクでの出勤を諦め、公共交通機関や自家用車で出社する社員が多数いた(中には出社できない社員もいた)。朝のミーティングで午前10時まで配達に出ず局内待機。配達エリアによっては、チェーンが必要だったが、バイクの台数分チェーンが確保できない事態(第二集配)。



昼前に降雪が酷くなったが業務指示は各部でまちまち。第二集配では11時半ごろ、帰局指示が出されたが、第一・第三集配は指示無くそのまま普段通り配達。
午前中、ほとんど配達できなかった区もあるが午後からは計画配達などの指示は無し。

16時過ぎにも降雪が酷くなり、第三集配では帰局指示がでる。第一・第二集配では指示は無し。3号便はこの日も4輪車で配達(一部、二輪車で配達したエリアあり)

2月6日(木)

この日も朝から積雪のため、公共交通機関や自家用車で出社する社員が多数。長崎バスは一部運転を見合わせる区間があり、出社できない社員がいた。
この日も前日同様午前10時まで局内待機の指示。午後からは大雪のピークは過ぎ、3号便も含め通常通りの配達。

2月7日(金)

前日までの雪はほとんど溶けてこの日は出社できない社員はいなかった。只、この日は夕方から暴風雪の予報で午後から風が強くなる。夕方からは雪も降り始め3号便は四輪車で配達(一部、二輪車で配達したエリアあり)

2月8日(土)

朝から積雪で路面は凍結。JRや長崎電気軌道などは通常運行だったが、

長崎バスは始発から運転見合わせて出社できない社員も数名いた。午前の業務指示では「二輪車で配達に出ないという」との指示が出る。

長中局近隣を歩いて配達するのは可。もしくは4輪車に同乗。想像以上に雪解けが早かったのか午前11時からチェーンを巻いて二輪車での配達を許可。



只、歩いて配達している社員には二輪車での配達許可が知らされず、歩いて「午後1」まで配達して帰局した社員もいた。雪解けに合わせて出勤できなかった社員も遅れて出社したが、遅刻扱いではなく勤務変更で対応するなどした。

午後からは天候が回復し、出勤した社員は翌日に持ち越さないよう超勤対応などでできる限り配達した。

2月9日(日)、2月10日(月)まで大雪の影響でゆうパックなどが遅延する事態となった。

先週の寒波の関係では、朝から積雪となった日が4日あったが、バイク通勤の社員のほとんどが通勤手段を変えて出社した。公共交通機関で出社した社員もいれば、自家用車、タクシー、徒歩など通勤手段は様々だ。
大雪に限らず、台風や大雨などの自然災害時には会社は「最善の努力をして出社」との周知だけで社員はいつも判断に迷うことになっている。また、業務指示も各部でまちまちの日もあった。支部はこのような事態を問題と考え、大雪に関する緊急の申し入れを2月6日(木)に行った。



期間雇用パート労働者の皆さん！ 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。
1集-海江田, 2集-向井, 3集-山田, 支部・分会の役員へ。

郵政ユニオン長崎の
ホームページはこちら



仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望者全員を正社員化を。

めいせ、均等待遇

ななくさ差別！

ユニオンは労基法裁判に勝利するぞー！